

第 130 号

発行日
2024. 3.18

Super Highway
春闘速報 17

J R 東労組バス関東本部

申 3 号 第 2 回団体交渉 要旨①

組合) まず旧賃金の社員が退職していった新賃金の社員が入社してくる。定期昇給の差額である 1,300 円分の人件費が蓄えられていく。コロナ前に比べて人も減っていきますので、そういうのも加味すると、人件費率でみると原資が生まれてくるのではないかと思う。なぜ生活していけるかというのは手当の部分の大きいからで、コロナ渦で実感したのは、手当がないと生きていけないと実感した。ベースとなる基本給が大切である。

会社) 明らかに見解が違うということはございませんし、基本的に会社としても似たような認識を持っている。

組合) 認識は、ほぼ変わらないということだが、運輸業は産別では低いということを提起していて、特に当社はバスというところでも低いという認識があり、このベースを上げていくためには一年に一度の春闘で上げ幅を持っていかなければならないという認識が貴側にあるかどうか。

会社) 当社が（賃金が低いという）認識は持っていないけど、トータル的には新と旧を合わせれば 25 万ちょっとというのが基準内賃金ですし、それについて合わせていくという考えは持っていない。今回の初任給だとか 55 歳以上の賃金のケア、そこの部分の底上げとか改善というのは注目している。全体にみなさん一律にというのが、無いとは言いませんけど、初任給と 55 歳減額見直しという方を意識している。産別で賃金が出ているが、運輸業は人気がないから、ほかの業種から注目してもらえるように賃金を直していかなければならないだろうと思います。

組合) 経営状況について確認したい。

会社) 2 月はまだ出ていない、間もなく出る見通しとして確定している 1 月をまず申し上げますが、累計 11100 万円の累計 1 月の単月でも 1200 万円の黒が出ている年始は比較的好調だった 2 月についてもこれが悪くない、うるう年で 1 日おおい特殊事情。そんなに黒ではない、赤かもしれないけど足を引っ張るような単月にはならない。ほぼほぼ宣言してもいいが、あと 10 日間で雪害などがあれば別として、よっぽどでは無ければ 4 年ぶりの単年度黒字を達成できる。運休という運休がなかった。あと 10 日間に 3 回あればわからないけど、そうでもなければこのまま 2 月にそんなに悪くなかったのは自然的なものがなかった。

J R バス 関東 で働く 仲間 を 一つ に !